

北里大学病院・北里大学東病院(旧)を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (受付番号/承認番号)	胆道癌における REV7 蛋白発現の意義の解析
当院の研究責任者 (所属・職位)	北里大学医学部病理学教授 村雲 芳樹
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・目的	<p>ヒトのあらゆる腫瘍は遺伝子の病気であり、様々な機序による DNA の異常とその蓄積によって引き起こされます。様々な原因によって起こる DNA 損傷は、修復されなかった場合に突然変異が誘発される可能性があり、発癌課程において重要な因子です。</p> <p>REV7 は DNA 損傷による突然変異導入において重要な役割を担っている蛋白です。遺伝子突然変異導入と発癌ならびに癌の進展・治療に大きな影響を与えていると考えられています。REV7 はいくつかの癌の発癌・予後に関与していることが明らかになっていますが、REV7 の胆道癌における役割については、未だに検討されていません。そのため、我々は胆道癌の新たな治療の可能性を検討する意味もこめて、胆道癌の発生・進展に REV7 が関与しているという研究仮説を打ち立てました。</p> <p>本研究の目的は、REV7 発現が胆道癌の発生、進展などに関与しているかどうかを明らかにすることです。</p>
調査データ 該当期間	2006 年 1 月 1 日から 2021 年 12 月 31 日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さま	上記期間内に北里大学病院、北里大学東病院で胆道癌の手術、または慢性胆嚢炎の手術、または消化管悪性腫瘍の切除時にほぼ正常の胆嚢の切除をされた方。
研究の方法 (使用する試料等)	<p>利用する情報: 2006 年 1 月 1 日から 2021 年 12 月 31 日までの電子カルテに記載のある病理検体、診療記録、検査データを利用します。</p> <p>方法: 大学病院病理部に保管されている対象症例検体のパラフィンブロックを用いて HE 染色と免疫染色を行い REV7 発現について調査します。また REV7 発現と種々の臨床情報との相関も調査します。</p>
試料/情報の 他の研究機関への 提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：
所属・職位:北里大学医療系研究科博士課程大学院生
担当者:松下昌裕(マツシタマサヒロ)
電 話:042-778-7747

備 考